

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成20年9月4日 (2008.9.4)

【公開番号】特開2006-72974(P2006-72974A)
 【公開日】平成18年3月16日 (2006.3.16)
 【年通号数】公開・登録公報2006-011
 【出願番号】特願2005-209986(P2005-209986)
 【国際特許分類】

G 0 6 K 17/00 (2006.01)

G 0 6 F 13/10 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 K 17/00 F

G 0 6 F 13/10 3 2 0 A

【手続補正書】
 【提出日】平成20年7月16日 (2008.7.16)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 5 0
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【 0 0 5 0 】

要求応答コンポーネント 3 0 8 は、デバイスとサーバの間のメッセージ交換を使用するために、プログラムコードを使用することができる。プログラムコードは、X M L（拡張マークアップ言語）、H T M L（ハイパーテキストマークアップ言語）、S G M L（汎用マークアップ言語）、および X H T M L（拡張可能ハイパーテキストマークアップ言語）などであるが、それに限定されないマークアップ言語でよい。たとえば、マークアップ言語は、要求、応答、および通知用のシンタクスを提供するのに使用することができる。要求、通知などは、強い型付けをもたらすように、D S P I コンポーネント（図示せず）においてプログラミングされたオブジェクトとして表すことができることを理解されたい。